

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 3月 3日

【評価実施概要】

事業所番号	0170501233		
法人名	有限会社 エイチ・ティ・エス		
事業所名	グループホームパストラル		
所在地	札幌市清田区清田3条1丁目9-26 (電話)011-887-5227		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成20年1月24日	評価確定日	平成20年3月3日

【情報提供票より】(19年12月25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)13年 7月 5日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 12人, 非常勤 4人, 常勤換算	13.5人

(2) 建物概要

建物構造	軽量鉄骨 造り	
	2階建ての1~2階部分	3階建ての1~3階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	34,000~35,000 円	その他の経費(月額)	10,000~17,500 円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	400 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	100 円
	または1日当たり		1,300 円	

(4) 利用者の概要(1月24日現在)

利用者人数	16 名	男性	5 名	女性	11 名
要介護1	4	要介護2	4		
要介護3	3	要介護4	3		
要介護5	2	要支援2	0		
年齢	平均 83.4 歳	最低	75 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	鈴木内科医院・河村歯科クリニック
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

「グループホームパストラル」は運営者が早い段階で事業所の重要性を認識し、高い志のもと平成13年に開設された事業所である。それぞれのユニットが2棟の独立した建物で隣り合わせて存在し、両ユニットとも家庭的で温かい雰囲気を持っている。全職員は温かい心と優しいまなざしを持って日々のケアサービスを実践し、利用者は穏やかに生活している。

【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価での課題であった「身体機能の低下を補う配慮」については手すりを増設し、「事業所に閉じこもらない生活の支援」については利用者の状況に応じて外出や外食する機会を設けるなど、改善に取り組んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全職員が評価の意義を理解し、一人ひとりが自己評価を行い管理者がまとめている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>利用者家族・町内会副会長・地域包括支援センター職員等を構成員とし、運営推進会議を開催している。会議では事業所と家族との関わり合い等について活発な意見交換を行い、事業所の運営に活かしている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>事業所内部・外部に苦情相談窓口を設け、利用者本人・家族からの意見・要望・苦情等に対応できるよう体制を整えている。また、家族の来訪時や電話連絡をした際に、職員は家族が気軽に意見等を話せるような雰囲気づくりに努め、事業所の運営や日々のケアサービスに反映させるよう取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に加入し、町内会行事に参加している。また、近隣住民から野菜の差し入れがあったり、日常的に挨拶を交わすなど、地域との交流に努めている。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「家庭的な環境のなかで利用者が自立した生活を送れるよう支援すること」を盛り込んだ独自の理念をつくりあげている。	○	今後、全職員で理念を再検討し、地域密着型サービスとしての役割を目指した理念をつくりあげることが期待される。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念について全職員で話し合う機会を設け、日々のケアサービスにおいて理念を確認しながら、その実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、夏祭り等の町内会行事に参加したり広報誌を町内に配布するなど、地域との連携を図っている。また、近隣住民から野菜やお花の差し入れがあったり、回覧板のやり取りを行うなど、日常的に近隣住民と交流できるよう取り組んでいる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員一人ひとりが自己評価を行い、管理者がとりまとめている。また、管理者は評価の意義について職員への周知を図り、自己評価を日々のケアサービスを振り返る機会とし、更なる質の向上に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	平成19年2月に運営推進会議を開催しており、現在は第2回目の会議開催を検討中である。	○	今後は定期的に運営推進会議を開催して意見交換を行い、そこで出た意見・提案等を事業所の運営に活かす取り組みが期待される。
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	市や区の担当者と密に連携を取り、事業所の運営等について意見交換を行い、ともにサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	毎月事業所便りを発行し、利用者の暮らしぶりを家族に伝えている。金銭管理についても定期的に出納帳のコピーを送付し、受診結果についてはそのつど連絡している。		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	重要事項説明書に内部・外部の苦情相談窓口を明示し、入居時に家族に説明している。また、家族の来訪時や電話連絡をした際に、家族が気軽に意見・要望・不満等を伝えやすい雰囲気づくりに努め、表出された意見等は、事業所の運営に反映させている。		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	運営者は労働環境の整備を図り、職員の異動・離職等が最小限となるよう取り組んでいる。また、異動等があった場合は全職員で利用者のダメージが緩和するように努めている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	系列事業所と合同の研修を2ヶ月に1度実施している。また、区のグループホーム協議会主催の学習会や、行政が主催する研修会に参加する機会があり、職員は積極的に受講している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は区の管理者会議や連絡会に出席した際に同業者と情報交換を行っている。また、系列事業所とは日頃から交流を図り、更なる質の向上に取り組んでいる。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前に利用者に事業所を見学してもらったり面談を行うなどし、本人が納得してからの入居となるよう配慮している。また、職員は利用者の生活歴等を把握し、利用者が早く事業所に馴染めるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日々の生活の中で職員は利用者から生活の技・知恵・文化・伝統等について教えてもらうことが多く、互いに支え合う関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員は利用者の希望を大切にし、職員間の気付き等を共有しながらアセスメントを行い、一人ひとりの思いや意向の把握に努めている。</p>		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>センター方式のアセスメントを実施し、医師や看護師等の関係者と話し合い、情報を共有しながら介護計画を作成している。また、地域において利用者がその人らしく暮らし続けられるよう、個別で具体的な介護計画となっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>総括表を使用し、職員間で検討しながら定期的に介護計画の見直しを行っている。また、利用者の状態変化があった場合は、そのつど家族・医療関係者等と協議し、現状に即した新たな介護計画を作成している。</p>		
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者本人・家族の状況に応じて通院時の付き添いや理美容室等の外出時の送迎など、柔軟な支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>2週に1度かかりつけ医による往診が受けられたり、看護師の職員を配置するなど体制を整え、医師や家族と情報の伝達や連携を図り適切な医療が受けられるよう支援している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化・終末期の対応については家族の意向を確認し、医療機関を含めて話し合い情報を共有している。</p>	○	<p>今後は終末期を迎えられる体制づくりの整備計画を実施し、具体的な取り組みが期待される。</p>
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員は利用者の誇りを損ねることのないような言葉かけや対応を心がけている。また、個人情報の取り扱いに関しては、使用目的や条件等を明記した個人情報使用同意書のもと法令を遵守し、プライバシー保護の徹底を図っている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>職員は利用者のペースを大切に、利用者の希望に応じた支援を行っている。また、買い物等も曜日や時間帯を決めず、一人ひとりの希望に応じて支援できるよう取り組んでいる。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理・食事の準備・後片付け等の作業を利用者の力量に応じて職員と一緒にしている。また、利用者の希望を採り入れた献立を作成したり、天気の良い日には事業所の庭で食事を摂るなど、食事が楽しみとなるよう支援している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望に配慮した入浴支援を行っている。入浴を嫌がる利用者には足浴や清拭等により、清潔保持に努めている。また、職員は声かけの工夫により、利用者が寛いで入浴できるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家事・畑仕事・水墨画・トランプなど、利用者の力に応じた、役割や楽しみごとの支援を行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩・買い物・ドライブ・温泉旅行・サーカス鑑賞など日常的に外出する機会を設け、五感を刺激できるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ユニット1は夜間は防犯上の理由から施錠しているが、日中は施錠していない。また、ユニット2はオートロック式の玄関で、職員の見守り等により外出傾向のある利用者への安全面に配慮し、利用者が自由に出入りできるよう支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回避難訓練を実施するとともに、避難経路の確認や災害時マニュアル等を整備している。	○	今後は消防署等の指導を受けながら昼夜を想定した避難訓練を実施するとともに、緊急時に地域住民から協力が得られるよう働きかけることが期待される。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員は利用者一人ひとりの食事・水分摂取量を記録しており、職員間で情報を共有している。また、刻みやトロミをつけるなど調理方法を工夫したり、総合栄養剤を用いて栄養を補うなど、一人ひとりの健康状態に応じて栄養バランスを確保できるよう支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間にはパッチワークや利用者の作品等が飾られ、家庭的で温かい雰囲気を有している。また、階段の手すりを増やしたりパネルヒーターを使用するなど、利用者が過ごしやすいう配慮している。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には利用者が使い慣れた馴染みの家具や生活用品等が持ち込まれ、また思い出の品が飾られるなど、本人が安心して過ごせるよう工夫をしている。また、洗面台が設置された居室もあり、利用者が気兼ねなく整容することができ、居心地の良い空間となっている。		

 は、重点項目。